



THE SAKURA

第32号
69・8・1
ボイスカ外
東京103

よき先輩でありたい

育成会々長 岡本泉

このことは前にも書いたこととありますが、
 あらためて書かして頂きます。誰もが先輩であ
 り、後輩である両面をもっています。いよ
 りが、先輩であることも、後輩として先
 輩に、
 「良い先輩であること」を望みます。又、先
 輩として後輩に、「良い後輩であること」を期
 待しながらです。しかしこれではいつまでた
 も、本当の民主化はできません。自分の権利を
 主張することばかりが大事だと思われ、自分の
 分の言い分だけを通そうとし、自分のしたい放
 題をやるのが、「民主主義」「自由」だとい
 違ひして、
 「民主主義」「自由」どころか、力づく
 の「封建社会」に逆もどりします。誠に真に残
 念ながら、最近の誤りが、現実の社会現象と
 してあちこちで起つています。その中で一握り
 の人達が、身をもちつて、その危険に警告をし
 自らの生活態度で「民主化」の方向しを体現して
 います。その人達は決して大声をあげて、はで
 身振りや宣言はしません。只もくもくとい
 が道を歩むのみです。その人達は先輩の非を

ならしたりはしません。その人達は決して後輩
 をなじることもありません。後輩に要求する前
 に、自らが如何に、又どの程後輩の為に役立
 つか、よき理解者でありうるか、よき先輩とし
 て、後輩の為に機会と素材を提供しうるかに力
 をつくします。己にきびしく、自らをいじめめ
 く努力をおしみます。もしその人が商人であ
 れば、自分だけが利益を得ようとはせず、わ
 やる「薄利多賣」に努力するでしょう。B.S.
 ではスカウトの本来の意味からいって、「人の
 やりたがらない、本래の意味からいって、や
 ること」が大切です。出来れば「パトロール・シ
 ステム」によつて一人ではなく、グループで努力
 をするたてまえになつていいます。B.S.活動は只
 「野外活動」と称して単に形だけの「キャンピ
 ング」をやらただけでは本래の目的から遠ざかる
 でしょう。もう理屈はやめましょう。私自身「
 よき先輩」でありたい。只だまつて「態度」で示
 そうよです。ね。「よき先輩」に続きたいもので
 す。渡辺清治氏こそ、その「よき先輩」の一人
 です。

渡辺団委員長は去る七月一日朝、突然、御遺
 去なされました。ここに一つしんで哀悼の意を
 表します。
 尚、故渡辺団委員長御葬儀の折は、御父兄の
 皆様方にも多数御参列頂きまして有難うござい
 ました。
 団委員会

御挨拶

年長隊長 三井 進

ようやく梅雨もあけ暑さがやってきました。が育成会員並びにスカウトの皆様御元氣でお過
 しの事と御挨拶申し上げます。去々七月一日に
 渡辺団委員長の突然の御逝去の報に接して唯々
 驚くばかりでございませう。我々三団はいつて
 はかけがえの無い人を失なひにあらためて故渡辺
 団委員長の御功績に衷心より感謝を捧げたとい
 思ひます。さて七月九日村田・中平両副団委員
 長のお骨新リで欠員となつた団委員長の後任を
 選出する臨時団委員会が開かれはからずも私
 田委員長の事務代行を命ぜられ御力ではござい
 ます。来々年三月の新年度登録の時迄に他の適任
 者を選出して戴くと云う事でお引受けした訳で
 ございませう。来々年三月までお引き受けした以上
 私の間時間の許す限り三団の為奉仕をする覚悟
 でございませう。何分にも若輩の爲団委員育成会
 長並びに会員皆様のご協力を戴かなければ当面
 急がなければならぬ。備品倉庫の建設備品の整
 理スカウトの増員等色々な事を処理して行く事
 はとても困難と思われませうので何卒宜しくご支
 援をお願い致します。

尚さくら七月号でお知らせ致ししたたり
 の文替は都合により八月三十一日迄は六月迄
 のメンバーで行く事になりませうのでお知らせ
 致します。

団情報

● 団委員会より
 故渡辺団委員長の後任として当分三井隊長が
 代行として任に當たらせらる。少
 少年隊のキャンプの日程が七月二十五日より
 二十九日迄に変更、場所は同じです。
 境内をいつも使用させて頂きますので浄真寺
 と掃除のおじさんにお中元をお贈りしました。
 賛助会員募集について、りづの方は順調に集ま
 っています。BSの方是非御協力下さい。
 ● 七月十二日庶務出張された横山副団長に
 御別にお贈りしました。尚、出発の際に村
 田副中平両副団委員長他リトターが多数見送
 ました。

● 団委員会では、日頃お再諾になつてい
 る。九品仏浄真寺玉川ライオンズクラブ、九品仏幼
 稚園、玉川ホニ出雲所に挨拶廻りを致しました。
 ● 八月、子どもの家へ、団本育成会長宅へ
 際、皆が訪れるように、読み終った不用の本へ
 下とんぼ、少年雑誌、マンガ、童話、学習雑誌等
 下とんぼ、二冊でもよいですから寄附して
 下さる。

● 年少隊より、一にもつてんけんについて、
 合意の爲の荷物、後は各組々長とデニマカ
 との相談の上場所、日時を決め各組毎に行なつ
 て下さる。

編集後記

今月号は故渡辺団委員長の後
 悼号と致しました。小巻南雲合川 虎平